

◎ 本会の動き ◎

☆女性技術者ネットワーク 報告☆ 2020年9月25日 オンライン開催 (化学工学会第51回秋季大会E会場)

化学工学会第51回秋季大会にて、化学工学会男女共同参画委員会による女性技術者ネットワークが開催されました。本企画は、女性研究者・技術者が少ない分野で女性同士のネットワークを広げ、それぞれが抱える悩みや問題点を共有し解決策を考えていくために、継続的に開催しています。今回は、化学工学関連分野で優れた技術や業績をあげた女性に贈られる女性賞受賞者2名による講演に続いて、岩手大学による男女共同参画推進の取組みの紹介、活躍されている女性研究者2名の講演が行われました。

女性賞受賞講演

初めに、女性賞受賞講演として、昨年度の女性賞受賞者である東北大学の栗原和枝氏に、「材料科学のための表面力測定」の展開」として講演頂きました。相互作用力の距離依存性の直接測定であ

女性賞授賞式



東北大学 栗原和枝氏



北海道曹達(株) 北澤由梨亜氏

る表面力測定に関し、従来法である表面力装置(SFA)の現状、世界唯一の不透明試料用のツインバス型鏡面力装置、共振り測定法(RSM)と束縛液体の研究並びに低温装置の紹介を頂きました。Super-modern(超現代的)であった従来の装置を、解析装置も含めた総合的なシステムとして開発したことや、装置の利用で様々な研究分野へ貢献された功績、多様な分野へ関心を持ち人とのつながりを大事にされてきたご自身の経験についても、紹介頂きました。

もう一人の女性賞受賞者である北海道曹達(株)の北澤由梨亜氏に、「化粧品プロジェクトリーダーとしての活動」として講演頂きました。社長の後押しで2017年に発足した8名の女性社員による化粧品プロジェクトを率いて、北海道曹達(株)にて開発されたキットサンエキスをを使用した化粧品の商品化プロジェクトの問題点、本プロジェクトによって得られた変化について紹介頂きました。女性社員の推移として10年前から倍増し、配属部署も増加しているなか、会社が抱える問題点として女性社員自身の意識改革が進まないこと、ロールモデルが不在であることなどを挙げられ、経営陣や人事の意識改革推進やロールモデル育成の必要性などのご意見を紹介頂きました。

招待講演

次に、招待講演として、岩手大学の内藤和美氏に「岩手大学における女性研究者・技術者支援の取組」と題し、岩手大学の男女参画活動について発表頂きました。女性教員の採用と登用、そして定着が長年の課題となっている岩手大学は、学長主導で様々な事業や支援を立ち上げています。無意識のバイアスに関する啓発活動も活発で、学内の男女参画活動への理解につながっていると話されました。質疑応答では、女性限定公募・登用に反発があることや、公募を出しても採用に至らないことなどについて意見が交わされ、活動を地道に続けることが改善につながるという認識を共有しました。



岩手大学 内藤和美氏

依頼講演

依頼講演では、「『どろどろ、さらさらを科学する』研究室での活動」と題し、山口大学の貝出絢氏に講演頂きました。ご自身が学部生時代から関わられているシリカゾル・ゲルの研究から、現在につながるレオロジーコントロールや安定化剤の研究成果をお話し



山口大学 貝出 絢氏



茨城大学 山内 紀子氏

頂きました。また、研究内容とともに、研究者の道を進んだ経緯、民間企業での勤務経験から若手に向けた企業での仕事について、ざっくばらんにお話し頂きました。

最後に、茨城大学の山内紀子氏に、「研究と教育と微粒子と私」と題し、ご自身の微粒子の研究から研究者、教育者としてのこれまでのキャリアを発表頂きました。山内氏は機能性微粒子の合成プロセスや種々の糖鎖を固定化できる合成プロセスを開発する傍ら、研究者としてのキャリアは高等専門学校の教員からスタートしたお話をされました。高専と大学の化学教育の違いや難しさに直面しながらも、研究と教育の両方に携わるやりがいを感じたお話を紹介頂きました。また、「女性が活躍する社会」に対して

の考えを共有され、女性はロールモデルが少ないことがネックになっているとお話しされました。

女性賞受賞記念講演は当初3月に予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により延期となり、今回の女性技術者ネットワークでの開催となりました。オンラインでの開催となりましたが、男女を問わず多くの方に参加頂き、活発に意見交換がされました。改めて講演頂いた方々に御礼申し上げます。

今回の女性技術者ネットワークは2020年12月11日(金)18:00より、やはりオンラインにて開催を予定しています。次回も多くの方と意見交換できることを楽しみにしております。



オンライン開催の様子

(千代田化工建設(株) 篠原雅世, 東京大学 天沢逸里, 早稲田大学 所 千晴)